

17. 副腎腫瘍

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん  
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数		手術	化学療法	放射線療法 体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
					治療内容	治療実績	医師の 専門 分野				
1	泌尿器科	3	3	状況 ○ 実績 あり	○ なし	○ なし	膀胱癌症例には内視鏡手術による切除を行い、再発の危険性の高い症例にはBCG膀胱内注入療法を追加しています。また進行性の症例には阻血下動注療法(BOAI)や全身化学療法と放射線療法を組み合わせるなど治療成績の向上に努めています。	ア http://www.ommedc.jp/patient/shinryou/hinyouki.html イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2	放射線科	5	1	状況 × 実績 なし	× なし	○ なし	高精度な照射が可能な器材が導入され2012年8月末までに約500人の悪性腫瘍患者様に放射線治療を行ってまいりました。根治療法から、再発や転移後の緩和治療にいたるまで、幅広い治療内容に対応しています。脳定位照射という腫瘍をピンポイントに制御する方法もおこなっています。	ア http://www.ommedc.jp/patient/shinryou/housyasen.html イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3				状況 実績				ア http:// イ http://			
4				状況 実績				ア http:// イ http://			
5				状況 実績				ア http:// イ http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況  
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例: 褐色細胞腫、副腎皮質がん  
 副腎腫瘍